

# 気仙沼の産業である造船に興味を持ってもらうには

## 宮城県気仙沼高等学校 1203A班

### I 序論

気仙沼は経済面で漁業に頼っている。造船は気仙沼の産業であるのに、興味を持つ人が少ないため盛り上がりに欠ける。

#### 仮説

造船業を活性化させるため企業と連携した効果的なPRを行うことで造船に興味を持ってもらえるのではないかな。

### IV まとめ

興味を持ってもらい、造船の魅力が広まることで若者の職業選択の一つになり、職人が高齢化する造船業を活性化できると期待する。このようなPRで興味を持ってもらえることは分かったが、それを拡散するまでには至らなかったなので、より効果的に拡散できるPRを探る必要があると考える。

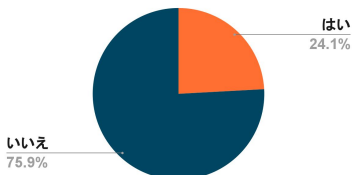
### II 本論

調査対象・・・気仙沼高校生174人

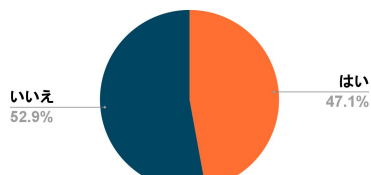
#### 調査方法

##### 1 Classiを利用したアンケート

造船に興味はありますか。



みらい造船を知っていますか。



結果: 造船に興味を持っていると回答した人は約25パーセントだった。

##### 2 実験方法

みらい造船の方々にインタビュー



造船の知識・魅力を学ぶ



造っている過程の写真撮影をし、インスタ等で発信

#### 【工夫】

- ・造っている過程を見せる
- ・独自のハッシュタグをつける

### III 結論

SNS・Classiに発信した写真

↓ 曲げ屋(熱を加え部品を曲げている)



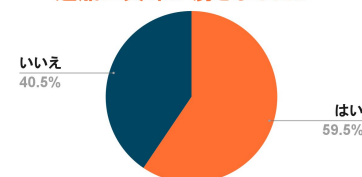
↑ 製造途中の船

みらい造船のインスタアカウント

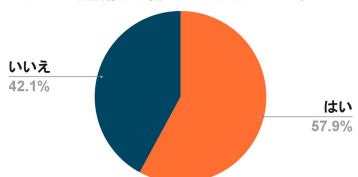
@miraishipyard 是非フォロー！！

写真を見せ、再びClassiでアンケート

造船に興味は湧きましたか



みらい造船に行ってみたいですか



調査対象・・・気仙沼高校生84人

企業と連携したPRで、PR前より造船に興味があると回答した人が増加した。

船だけでなく、船を造る過程を見せたり独自のハッシュタグを使用する工夫をしたことで効果的なPRができた。

### V 参考文献

山口一美・椎野信雄「新版 はじめての国際観光学一訪日外国人旅行者を迎えるために一」(2018年5月5日 創成社)

【協力会社】みらい造船

ホームページ↓

<http://www.miraiships.co.jp/>